

東京都地域防災計画 震災編を修正

新たな被害想定で明らかになった震災リスク等を踏まえ、
東京の総力を挙げて防災対策を進める上での羅針盤として修正

視点1

家庭や地域における
防災・減災対策の推進

視点2

都民の生命と我が国の首都機能
を守る応急体制の強化

視点3

すべての被災者の安全で質の高い
生活環境と早期の日常生活の回復

分野横断的視点

ハード対策

多様な視点

防災DX

人口構造



減災目標・主な取組内容①

減災目標の設定

**2030年度までに、首都直下地震等による
人的・物的被害を概ね半減**

今回の修正における主な取組

①震災リスクへの的確な対応

主な震災リスク

- 火災の延焼 ✓ 出火防止対策の強化 **視点1**
- 道路の閉塞 ✓ 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進 **視点2**
- 通信の途絶 ✓ 全ての避難所における通信環境を確保 **視点3**
- 建物の倒壊 ✓ 住宅の耐震化促進 **分野横断的視点**

主な取組内容②

②地域防災力の再興元年 **視点1**

- ✓普及啓発ツールのグレードアップ
- ✓テレワーカーや外国人、NPO等、
新たな共助の担い手が活躍できる仕組み



防災ブックのリニューアル



防災セミナーの充実強化

+

社会環境の変化

単身世帯や
高齢者の増加

新たな共助の
担い手の活躍

ボランティア
テレワーカー等

③東京の特性を踏まえた「マンション防災」の展開 **視点1**

- ✓マンションの実態に即した
戦略的な防災対策の推進

助け合いの精神の醸成

マンション防災を戦略的に推進

町会・自治会支援を通じた
コミュニティ活動の促進

災害時でも生活継続しやすい
マンションの普及